

京都市立芸術大学移転記念事業

砂原悟教授退任記念演奏会

# minipiano 2.0

ミニピアノ ～新たな響きへ～

2025. **3.29** 土

午後3時開演 (午後2時30分開場)

入場料 3,000円 (全席自由)

未就学児童の入場は御遠慮ください。

会場

京都市立芸術大学  
堀場信吉記念ホール

京都市下京区下之町57-1

C. P. E. バッハ

チェンバロとフォルテピアノのための  
コンチェルト 変ホ長調 Wq 47

藤枝守

ピアノとガムランのためのコンチェルト  
no.1 & no.2

岡田加津子

“KISUI” for A minipiano

他

©二月空

2025年 2月4日(火) 10時より チケット販売開始!



京都市立芸術大学  
ウェブサイトから **WEB**で購入  
<https://www.kcua.ac.jp/ticket/>  
\*24時間購入可

購入方法

「いずれかで」  
お求めください

窓口販売 \*支払は現金のみ対応可

京都市立芸術大学事務局 共創テラス・連携推進課  
京都市下京区下之町57-1 D棟1階

場内誘導や座席等について特別な配慮を必要とされる方は、開催日の5日前までに共創テラス・連携推進課まで御相談ください。御希望に沿うよう可能な限り対応いたします。

主催 | 京都市立芸術大学

制作・お問合せ | 京都市立芸術大学事務局 共創テラス・連携推進課/リエゾンオフィス  
電話 075-585-2006 (平日 8:30~17:15) Email public@kcua.ac.jp

KYOGEE  
TERRACE

京都市立芸術大学  
Kyoto City University of Arts

# 砂原 悟

SUNAHARA Satoru

東京藝術大学付属高校を経て、1983年同大学卒業。1985年ドイツ学術交流会(DAAD)の奨学金を得て渡独。1987年ミュンヘン音楽大学マスタークラスを修了して帰国。1988年東京藝術大学大学院修了。1993年まで同大学院博士後期課程に在籍した。

1984年日本音楽コンクール入選。1987年ポルト市国際ピアノコンクール入賞。1988年クロイツァー賞受賞。

1987年ミュンヘンより帰国後リサイタルや室内楽、歌曲伴奏など本格的に演奏活動を開始。NHK-FM「FMリサイタル」や「ベストオブクラシック」に出演。1998年文化庁の派遣により、クラリネットの村井祐児氏とトルコ大使公邸やイスラエル・テルアビブ美術館において演奏。2005年からクラヴィコードでの演奏も開始、この頃より藤枝守の作品発表に関わり、各地で演奏。2008年「クラヴィコードの植物文様」リリース。2014年にはエレクトリック・ピアノの銘器「Rhodes」でのソロコンサート。2018年イタリア・レッチェ音楽院にてマスタークラスとリサイタル。フィレンツェにて1846年製ベーゼンドルファーによるリサイタル。

2019年より河合小市によるミニピアノでのコンサートを各地で展開している。2019年10月京都コンサートホール・エントランスホールにて2台のミニピアノによるコンサート。11月に和歌山・ルルホール、東京・自由学園明日館ラウンジホールにてミニピアノによるソロコンサート。2020年9月本学の特別研究助成を得てミニピアノ演奏録音を行い公開。2021年3月岡田加津子の「汽水」発表。2022年からは藤枝守によるミニピアノのための新曲発表が続く。2022年3月富山・杉風荘にて「ミニピアノの植物文様」、12月福岡・アクロス円形ホールにて「ガムラン・コンチェルト no.1」、2023年8月東京・サントリーホールにて「ガムラン・コンチェルト no.2」をそれぞれ初演。

2011年より本学教授。

ミニピアノ

砂原 悟 田中 咲絵

フルート

小林 千晶 俵 啓乃

ホルン

矢野 めぐみ 佐藤 舞古都

ヴァイオリン

藤村 知史 山田 周

ヴィオラ

日下部 心優

チェロ

谷口 晃基

コントラバス

高井 梨緒

ガムラン

パラグナ・グループ

1985年結成。インドネシア・スダ(西ジャワ)音楽のグループとして、東京を拠点にガムラン・ドゥグン、トゥンパン・スダの演奏活動を行っている。スダの音楽家との共演も多く、インドネシアのガムラン・フェスティバルに多数参加。古典曲のほか、ルー・ハリソンや藤枝守作曲の現代作品も精力的に演奏し、幅広い活動を展開している。

2021年、CD『ガムラン曼荼羅／藤枝守』(MAM-0003)をMilestone Art Worksより発売。

YouTube「Paragunaチャンネル」を開設し随時配信。



本演奏会で使用するミニピアノは、河合小市(1886-1955)によって1930年代に製造された小型ピアノで、40鍵、51鍵、64鍵の3種類がある。サイズは小さいものの、堅牢な鉄骨フレームや共鳴度の高い響板、鋭敏なアクションを用いるなど、随所に高品質志向の配慮がなされている。最も特筆すべきは「単弦」(1鍵につき1本の弦)を採用している点である。一般的なピアノが「3重弦」(1鍵につき3本の弦)であるのに対し、この「単弦」構造によりハーブやリュートを思わせるシンプルで親密な音色になっている。また弦の数を減らすことで高い張力を保持して、小型ながら「よく鳴る」楽器に仕上がっている。



## 会場

# 京都市立芸術大学 堀場信吉記念ホール

京都市下京区下之町57-1

- ・地下鉄烏丸線・JR各線・近鉄京都線「京都」駅下車 徒歩6分
- ・京阪電車「七条」駅下車 徒歩10分
- ・市バス 4・16・17・81・205・南5号系統 「塩小路高倉・京都市立芸術大学前」下車すぐ

A棟(塩小路高倉側)の大階段(またはエレベーター)にて、3階入口へお越しください。

構内に駐車場はありません。各種公共交通機関をご利用のうえご来場いただきますようお願いいたします。

